

## アンケート結果を受けて改善したいところ

教員とのコミュニケーションの取り方では、「強くそう思う」が4人でした。次回以降は、もっとコミュニケーションを取るよう努めたいと強く感じました。

今回の結果は、授業において収穫がなかった1名に、授業中に担当教員が気付かなかったことがそもそも問題であるとする。コメント用紙や授業中のコミュニケーションをさらに活性化し、まずはつまづいている学生に気付くことを先決としたい。

これまでも改善に努めてきたが、今後さらに努力したい。

上記の(3)は、アンケート結果に反映されている。特に、教員が学生から出なかった見方や違う立場から意見を出すことに抵抗があり、誘導や強制とみられてしまう。以前は、この授業の前の教材研究科目で、教員からの伝達ではなく、学び手自身が追究し、またそれについて議論して授業をつくるイメージとその意味を実践しなら共有し、その後、そのような授業記録の分析を行っていたせいか、うまくいっていた。今回、授業づくり・単元づくりに重きを置いたが、授業実践例から、「課題提起型学習」あるいはディープ・アクティブラーニングを検討できるためには、その体験があまりない学生には、その前にテーマについて学生が追究し、それを持ち寄り、論争点を発見し、検討するなどといった活動を最初に行い、その意味を体験により実感する必要があるようである。そのような活動を積極的に入れることにしたい。また、やっていることの意味を、丁寧に繰り返し、説明するようにしたい。

資料の提示や自らが調べる課題などを与えたいと思う。

問1から10のうち、①と②を併せた回答から判断すると、問1、問5、問6、問7、問8については今後、特に改善に努める必要ななさそうである。問2「授業で提示された課題・参考文献・資料などを自ら検索・参照した上で、自分で問題点を深く考えた。さらに、その考えに基づき行動した。」や、問3「授業を受けた上で、自ら関連項目について文献やインターネットなどで調査し、新たな思考を展開した。さらにその思考に基づき行動した。」では、③④と答えた学生も少なくないことから、今後、自発的な学習につながっていくような授業構成をしないといけないと思った。問4、問9、問10では①と②と回答した学生が60%を超えるが、③と答えた学生も20～30%いたことを踏まえて、より自信を持って児童の前で授業ができるような工夫や、学生一人一人とのコミュニケーション、教育目標の明確化にもう少し尽力しなくてはと思う。

毎時間、予習のための課題を与えるとよいだろう。

授業内容の難易度をもう少し上げた方がよいだろう。

前述したとおり、授業内容の「難易度を落とす、内容を簡単なものにする、課題の量を減らす」等を検討している。しかし教員免許に関わる授業において、学生からのアンケート結果を受けて安易で平易な方向へ合わせていくことには強く疑問を感じている。

アンケート結果に関わらず、来年度から「アクティブラーニング」の大幅な導入を考えております。今のところ、教員側がin-putすべき内容とそのための時間計画、学生側がout-putする内容とそのための時間計画と方法(主としてグループ協議)を検討し、具体的なアイデアが固まりつつあるところです。

- ・板書は見やすいように工夫する必要がある
- ・自ら問題意識を持てるような機会を設ける必要がある

授業で得た知識・技能を各自が深め展開できるような指導が必要ではないかと考えている。

・教職に就きたいという意識の高い学生さんたちには、とてもよい評価をしていただきました。教材研究をし、学生さんの授業のふり返りには丁寧に朱書きを入れました。「将来、真似をしたい」といつてくれた人もいて、うれしかったです。  
・専門外の興味をもっていない学生さんには、もっと興味をもてるよう、時間配分等にも気を配っていきたいです。  
・ノートテイクを受けている学生さんのいる一講座の人たちは、いろいろな教科の寄せ集め集団でした。なぜ教員がゆっくり話しているのか、最初に他教科の人たちには説明をきちんとしておくべきでした。現場には、いろいろなハンディキャップをもった子どもたちがいます。そういう子どもたちにも、心配りのできる教員になってほしいと願っています。  
・後期の人たちには、最初に何を学びたいと思っているのか、さらにきちんと実態把握をして授業を組み立てていきます。

授業の難易度について難しいと感じている学生が2割程度だったので、個人に合わせた課題を出す上でもう少し取り組み易い課題も出すように次回から工夫したい。  
この授業のための週当たりの学習時間が1時間未満と回答した学生が一番多かったが、ピアノの学習はコツコツと毎日の積み重ねをして、もっと累積時間が多くなるようにしたい。そのために次回からは課題の出し方を工夫して、継続しやすい練習方法の提示をしていきたい。

学生さんのアンケート結果から、授業内容、説明方法等はおおむね良好と感じた。その結果、知識・技能が身につく、多様な考え方ができるようになったと一定の評価ももらえたが、本授業のために家庭学習や自主学習をする時間がすくなかったという結果が出たので、今後担当する機会があれば、その点を改良していきたい。

・これまでも増して学生の思いや考えを活動の中に取り入れていくことが大切

受講生自らが調べたり、新たな思考を展開させたりする部分が少ないことから、この点を改善したい。

・問3「授業を受けた上で、自ら関連項目について文献やインターネットなどで調査し、新たな思考を展開した。さらにその思考に基づき行動した。」の割合が他の項目に比べて少ない。反転的な授業を試みたが、文部科学省作成の「小学校体育デジタル教材」を視聴する観点を提示したり、他の運動教材を考えるような課題の設定をしたりすることで改善を図り、学生のアクティブラーニングにつながるように努めていきたい。  
・問4「授業で修得したことがらについて、自らの表現で伝えることができる」の割合も他の項目に比べて少ない。資料の説明と比べてグループ協議し発表する時間的な確保ができなかったと反省する。ペアからグループへ、グループから全体へなど、学生自らの表現で伝えることができる時間的確保と学習形態の工夫もしていきたい。

楽譜の読み方もわからない初心者に対して説明指導する時間が必要なので改善します。

同じテキストを使っている、クラスにより、難しいと考える学生が多いクラスもあります。ピアノの初心者が多いクラスでは指導方法の工夫、改善にとりくみたいと思います。

難しいと感じる学生がいます。ピアノ初心者かと思えます。  
個人差が大きい学生のレベルに対応できるように課題を工夫、改善していきたいです。

学生により分かり易い説明を心掛けたい。  
学生の主体的な活動をより重視したい。

実技の授業を担当していると感じることはあるが、①この授業で身につけるべきことは何か、これを最初の授業で細かく説明する必要があると感じた。次年度はこの点をはっきりさせて授業を進めるつもりである。②授業で説明する要点を忘れないように記録できる時間を確保する。内容は大きく変わることはないが、以上の2点を次年度では注意して授業を行っていききたい。

週当たりの学習時間について、半数はなしの回答であった。次の時間までの課題設定を特にせず、当日の授業のなかで学習する形式で行っていることがほとんどのため、このような結果になっていることも考えられる。とは言え、週間の学習時間を促すような授業内容の工夫は必要と思われる。

「この授業で、新しい考え方や知識・技能が身についた」について「強くそう思う」と「ややそう思う」合わせて約9割の回答が得られたこと、「授業の難易度」について「ちょうどよい」78%・「難しい」15%の回答が得られたことから、教員の意図と学生の学びが概ね噛み合ったと理解している。現在の授業の方向性を洗練させて、より学生の学習意欲を喚起できるように工夫を重ねたい。

改善する余地は毎回あり、少しずつ欠席する学生の数を減らすことができればと思います。

声小さいときがあるということなので、今後はできるだけ大きな声で講義をするように努めていきたい。

授業内ではみなさん意欲的に取り組んでくださっていましたが、他の場面で音楽教育について考えたり、調べたりする面が少なかったようなので、今後は自分でさらに思考や理解を深めてもらえるような工夫やアドバイスを取り入れた授業を試みようと思います。

しゃべり方、説明の仕方を工夫し、授業の難易度で、難しいと答える学生を減らしていきたい。

- ・小テストなどにより、段階的に理解の様子をみて事後に生かしていきたい。
- ・学生が自ら考え学ぶことができるような内容を考えていきたい。

本来ピアノのレッスンとは非常に多くの時間を必要とするものである。短い時間のなかで多くの人数の演奏を聴き、大きな進歩が得られるよう導いていくことは困難な作業である。しかし、これからも今までと変わらず、学生がこの授業が終わってもピアノに触れていきたいと思うよう努力していきたい。

毎回の授業のはじめに、授業のねらいを明確に伝え、終了時に、学生がねらいを理解したかどうかの振り返りをしたい。

授業後、さらに自学したくなる仕掛けを構築する必要があるだろう。

上記のことを含めて、授業が狙いについて理解をさらに向上させたい。